

神戸発レクイエム 10年の節目

阪神・淡路大震災の被災者らでつくる合唱団が歌う企画「レクイエム・プロジェクト神戸」のコンサートが21日、神戸市中央区の神戸文化ホールで開かれる。プロジェクト始動から10周年。佐用町をはじめ東日本大震災や熊本地震の被災者らも駆け付け、約300人が出演する。

プロジェクトは2008年、神戸ルミナリエの会場音楽を手掛ける作曲家の上田益(61)＝東京都＝が開始。その際に結成した「神戸いのりのとき合唱団」の65人が、月3回ペースで練習している。

上田は同様のプロジェクトを、他の災害被災地、原爆が投下された広島や長崎など戦災地を含む全国7カ所で立ち上

21日、鎮魂のコンサート

げ、計約450人が参加する。年1回、各地で開かれるコンサートには各団員たちが互いに行き来し、親交を深めている。

レクイエムは死者のための音楽。上田は10年、伝統的なキリスト教ミサの典礼文を基にした6曲と、団員の被災体験を踏まえて書いた4曲からなる「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない」を完成させた。残された生者のための希望も込めた音楽で、みんなで歌い続けている。

コンサートではプロ奏者と共に同曲のほか、上田が各地の詩人と作った合唱組曲など計36曲を披露。神戸市立桂木小学校合唱団35人も出演する。上田は「ここまで続けて来られたのは神戸の団員の思

上田益の指揮で練習する「神戸いのりのとき合唱団」のメンバー＝神戸市灘区山田町3、神戸学生青年センター



いの強さ。一人一人の思いを重ねた歌声は、聴く人の心深くまで届くはず」と語る。

開演は午後1時半。前売り1800円、当日2300円。高校生以下いずれも千円。同プロジェクト☎080・5065・4313

(松本寿美子)